

# 港区 地域こぞって子育て かわら版

みんなで聞こう・いっしょに話そう みんなで なかよく とりもとう！



## 港区地域こぞって子育て懇談会は、こんな場です！

地域の子育て・子育ち環境向上のため、子育て中の人たちと、地域で応援するよ～という多様な人たちが、共に集う場です。

### 企画は実行委員会が担っています！

2013年度実行委員会は、ママメンバー14名、パパメンバー4名、子育て支援関係者4名、学生メンバー15名に、子ども家庭支援センターと明治学院大学社会学部付属研究所スタッフ6名が加わりました。

ママ・パパメンバーは多様です。ほとんどが、港区在住ですが、在勤者もいます。実行委員の子どもたちの年齢は、0歳の赤ちゃんから、保育園児・幼稚園児・小学生・中学生・高校生・大学生までそろっています。

「子育て」の課題や悩みは、乳幼児期だけのものではありません。多様な実行委員により、2013年度も6つのテーマが提起されました。懇談会が始まった頃の実行委員は幼稚園ママ中心でした。現在は、継続メンバーが増え、子どもたちの年齢幅も拡がりました。土曜日の会議開催により、就業ママやパパが加わりました。ママ層は、専業主婦、自営・起業からフルタイム就業までさまざまです。パパ層含め、時間を工夫して参画し、多様な課題提起と対話の場づくりを、人とのつながりづくりを楽しみながら行っています（応募方法は、P4参照ください）。

### これまでの懇談会のテーマ

■2005年度（明治学院大学社会学部付属研究所市民講座として実施）

都心で子育てまつ最中！ママ・パパからの発信

～子育てをささえる地域創りとは～

■2006年度 みんなで聞こう・いっしょに話そう

「子育てをささえる地域創りとは」

■2007年度「急募！子育てにやさしい店と街」

■2008年度「つながりの輪をひろげたいなあ」

■2009年度「まちに顔見知りがいると安心できるね」

■2010年度「まちの中に、あなたや子どもの居場所ありますか？」

■2011年度「みんなで始めたいねとなりの人とのつながりづくり」

■2012年度「つながることで生まれるもの」

\*6つのテーマの分科会として開催

①人と人”地域”がつながる、みんなでつくろうネットワーク・コミュニティ！

②外遊び！みんなで考えよう

③家庭教育を話そう！～子どもたちに伝えたい大切なこと～

④世代、地域、つながり！～つながる機会への参加を考えよう～

⑤家族が増えるとどう変わる？～知りたい！産前産後あれこれ～

⑥子育て・家庭・地域 etc. な～んでもしゃべり場

### 地域こぞって子育て懇談会実行委員会

子育て中のママ・パパ、子育て支援関係団体、学生、港区立子ども家庭支援センター、明治学院大学社会学部付属研究所ソーシャルワーカー、その他



つながることで  
生まれたもの・・

### 「みなどでこぼこうさみち」の活動

発達障がいの方と当事者家族が孤立しないように、発達のこぼこを受け入れ、支え、見守る地域づくりのネットワークづくり。2013年度懇談会企画過程から生まれた活動。

懇談会と地域こぞってネットワーク会議での  
出会いから、多数のコラボレーションが  
生まれています

例えば、  
子育てグループの  
つながりが毎年  
区民まつりに出店

例えば、  
中学校主催の  
地域懇談会に  
実行委員が協力

### 「みなど外遊びの会」による活動

港区のプレーパーク事業に、住民側から主体的に参画しようという活動。団体としては港区内の常設プレーパークづくりをめざす。

2011年度懇談会への関係者の参加を契機に、実行委員はじめ区民が参画し活動開始、2014年1月本格始動。

例えば、  
先輩ママによる  
赤ちゃんママサロンが  
児童館事業へ展開

例えば、  
チャイルドラインの  
開設

例えば、  
子育て情報の  
フリーペーパー発行

例えば、  
保育園とNPO法人による  
講座の開催

# 2013年度 港区地域こぞって子育て懇談会 6つの井戸端会議より

## 井戸端会議 ①

### 多世代・地域・つながり ～子ども時代を遊びきる～



## 井戸端会議 ②

### ゲーム・スマホ etc.のトラブル急増中！ どうする？親は？子どもは？ ～現役中高生と考えよう！～



## 井戸端会議 ③

### 家族が増えるとどう変わる？ ママ・パパの期待と不安 ～家族が楽しく生きるには～



## 井戸端会議 ④

### どの子も過ごしやすい地域づくり ～子どもの発達の課題に視点をおいて～



## 井戸端会議 ⑤

### 大学生の放課 GO!? ～地域の子育て、大学生にできること～



## 井戸端会議 ⑥

### 子育て・家庭・地域 etc. な～んでもしゃべり場



〈井戸端会議で、こんな話が出ました。〉

- ・子どもは、昔も今もどんな環境でも自由に遊べる力をもっている。今の時代、親の不安感が子どもの遊びを制限している面もありそう。
- ・プレーパークのような場がたくさん作られるといい。
- ・だが、路地などで遊べる地域づくりも必要。近所の人と顔の見える関係を築き、子どもを見守る目が増えること、それが子どもも親も安心して過ごせる場だろう。
- ・どのように多世代とのつながりをとりもつか、課題である。

- ・子どもの方が知識も豊富で使いこなしていることを大人も認めよう。子どもから学ぶ気持ちで向き合い、よりよい使い方を共に見つけるための対話が大切。
- ・子どもたちも、「すべては親子の信頼関係にある」と考えている。信頼関係は、小さい頃から積み重ねられたもの。
- ・子どもは親の背中をしっかり見ている。子どもはそれぞれの発達段階で「大人観」が変わる。
- ・過度な干渉は、子どもの闇を増やす。まずは、わが子を信じることから始めたい。
- ・親や大人が正しい知識をもつための学ぶ場が必要。

- ・親が笑顔だと子どもも楽しくなる。楽しさを追求するには、時間・体力・知識・経験・モチベーション・早寝早起きなど生活面大事だが、「人にうまく頼る」ことも必要だし、子どもを愛してくれる大人を増やすことも大切。
- ・父親が育児の関わりを増やすには理解が得にくい社会環境。同じ親でも性別が違うと周囲の対応が異なる。世代により価値観や認識も異なり、摩擦が起きることもある。
- ・乗り越えるためには、相手の発言や行動の背景を知り、自分の思いを伝えて共有を図ることが大切な姿勢だろう。

- ・「障害のある人にとって、暮らしやすい町は、他のすべての人にとっても、暮らしやすい町である」というユニバーサルデザインの考えをもとに地域づくりをしたい。
- ・発達に課題のある子どもは、周りの接し方や関わり方を考えさせてくれ、日頃の子どもとのコミュニケーションについて考える機会になる。
- ・発達に課題のある当事者の努力だけでは厳しく、医療・教育・行政機関の充実と、周囲の人々の理解と適切な対応が必要。多くの人々に広く理解と支援を求める。
- ・今後、港区で発達課題のある人を受け入れ見守る活動（定期勉強会の開催等）を通じ、ネットワークを拓げていきたい。

- ・①学習・子育て支援の学生アルバイト派遣案、②子ども会設立案、③子育て支援施設見学ツアー実施案という「地域の子育て」3つを提案した。
- ・大学生に任せられないことはありながら、大学生だからこそできることがある。
- ・大学生に主にしてほしいこと→学習支援、中高生との関わり、安全管理の上で子どもと思いつき遊ぶ、世代間交流、母親にとっての気分転換とちょっとした手助け。
- ・大学生に任せられないと思われたこと→乳幼児の世話。
- ・多世代で子育てについて考え、活動へつなげることが重要だ。

- ・世代別の子育ての考え方や常識の違いをどう乗り越えたらいいだろう。
- ・いい意味で、厳しい人やうるさいおじさん・おばさんがいなくなつた。本当は増えるといい。
- ・人生の先輩たちが、伝統や継承すべきものを伝えていかなければいけない。それを今すべき。
- ・いろいろな世代が出会い、子育ての知恵や経験、新しいメディアや新しい人たちから学べることを世代間で交流することが必要だ。

# 2014年度への展望

## 2014年度

### 港区地域こぞって子育て懇談会

「こんなふうにしたい！！」

### 地域(エリア)こぞって

「出前こぞって」「移動式こぞって」  
「ミニこぞって」・・・港区内各地

=オールみなとの懇談会開催を検討しよう。

### 多世代こぞって

- ・シニア世代からのテーマを、子育て世代とシニア世代が語り合う懇談会を検討しよう。
- ・子どもたちを巻き込んでの懇談会を継続したい。
- ・これまで関わった学生たちのその後=卒業後の社会人生活・結婚・出産をテーマとして語り合う懇談会を検討しよう。

### 各テーマこぞって

「井戸端会議のテーマどれにも参加したい」ならば、日程をばらしてテーマごとの懇談会を検討しよう。

「出会いとつながり」の場、  
そして、「よりもつ人(びと)」への進化の場として・・・

「地域こぞって子育て」の考え方と、港区地域こぞって子育て懇談会は、ゆるやかで、しばりのない、ほんの小さな出会いから始まる網の目づくりの場としての役割を今後も担っていきたいです。

実行委員はもちろん、参加してくださった方も、明日からは「よりもつ人(びと)」として、ほんのちょっとできることから、みんなをなかなかよくとりもってほしいです。そんなパワーを、お互いに感じられる場になりたいです。

## 『地域こぞってネットワーク会議』 2014年6月20日(金)に開催！

懇談会から半年後の、毎年6月に開催しています。子育て支援・子ども応援の活動者・実践者が集います。関心ある方なら、どなたでも参加できます。

「地域こぞってネットワーク会議」は、子育てや子どもたちを応援する、同じ目標に向かう関係機関／団体同士が、直接顔を合わせ、互いの取り組みを知り、関係を築き、協働の可能性を拓げることを目的としています。



## 『港区地域こぞって子育て懇談会』 2015年1月に開催予定

「出会いとつながり」の場、「とりもつ人（びと）」への進化の場として、2014年度も開催予定です。開催情報は、港区地域こぞって子育て懇談会事務局（明治学院大学社会学部付属研究所）・港区立子ども家庭支援センターにお問い合わせください（以下に連絡先）。



あなたも  
「みなと子育て  
メーリングリスト」へ  
登録しませんか？

### 「みなと子育てメーリングリスト」をもっと活用しよう！

地域の中のつながりをつづけよう～地域の中の子育て情報を共有しよう～という、情報発信用のメーリングリストです。

地域子育て情報のフリーペーパーをつくっている、みなと子育てネットWa.Wa.Waが管理しています（メールアドレスの管理は、みなと子育てネットWa.Wa.Wa ML事務局です。港区の事業ではありません）。

「子ども」「子育て支援」「親子」「地域」などをキーワードとする情報を交換しましょう！

登録希望の旨とお名前・所属（ある方のみ）を書いてメールしてください。  
お名前を必ず書いてくださいね（お名前がない場合は受け付けられません）

[minatokosodate@gmail.com](mailto:minatokosodate@gmail.com)

### 実行委員募集

港区地域こぞって子育て懇談会の企画に参画しませんか？

2014年度の港区地域こぞって子育て懇談会実行委員会は、2014年6月キックオフです。関心のある方、お気軽にお問い合わせください。

みんなで なかよく とりくもう

#### ●実行委員の応募条件：

- ・港区内の子育て・子育ち環境向上を望む人
  - ・経験不要
  - ・月1回（主に第二土曜日午前の予定）程度の集まりに参加を予定できる人
  - ・活動期間は6月～翌年3月まで  
(継続大歓迎ですが、単年度の参加ももちろんOK)
  - ・その他応相談
- 応募先：
- 港区地域こぞって子育て懇談会事務局  
明治学院大学社会学部付属研究所  
ソーシャルワーカー  
TEL&FAX：03-5421-5205  
Eメール：[issw@soc.meijigakuin.ac.jp](mailto:issw@soc.meijigakuin.ac.jp)  
または、港区立子ども家庭支援センターへ  
TEL：03-6400-0090

### かわら版配布やポスター掲示 協力者募集

地元のみなさんへの広報のため、「地域こぞって子育てかわら版」配布や開催告知ポスター掲示に協力してくださる、お店や会社、マンションの掲示板等を募集しています。協力いただけるみなさん、以下にご連絡ください。

#### ●連絡先：

港区地域こぞって子育て懇談会事務局  
明治学院大学社会学部付属研究所ソーシャルワーカー  
TEL&FAX：03-5421-5205  
Eメール：[issw@soc.meijigakuin.ac.jp](mailto:issw@soc.meijigakuin.ac.jp)

本かわら版に関するお問い合わせは、右記へご連絡ください。

本かわら版は、「2013年度港区地域こぞって子育て懇談会報告書」のダイジェスト版です。報告書をご希望の方も右記へご連絡ください。

### 港区立子ども家庭支援センター

〒108-8315 港区三田 1-4-10 TEL 03-6400-0090

### 明治学院大学社会学部付属研究所

〒108-8636 港区白金台 1-2-37 TEL&FAX 03-5421-5205

Eメール：[issw@soc.meijigakuin.ac.jp](mailto:issw@soc.meijigakuin.ac.jp)